

管理番号	検査項目	掲載日
3 - C - 1 - 1	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (エスカレーター：ドラム式)	2008-08-11

1. 適用

適用を表 1 に示します。記載項を確認してください。

表 1 . 適用表

電磁ブレーキ型式
BV291
BS291
TMB40
TMB85
TD 形エスカレーター (電磁ブレーキ型式なし)

2. 検査方法

2.1 型式の確認方法

2.1.1 電磁ブレーキ型式：BV291、BS291

図 1 . A、図 1 . B、図 1 . C に示すブレーキコイル部の銘板により型式を確認します。

(1) BV291の時

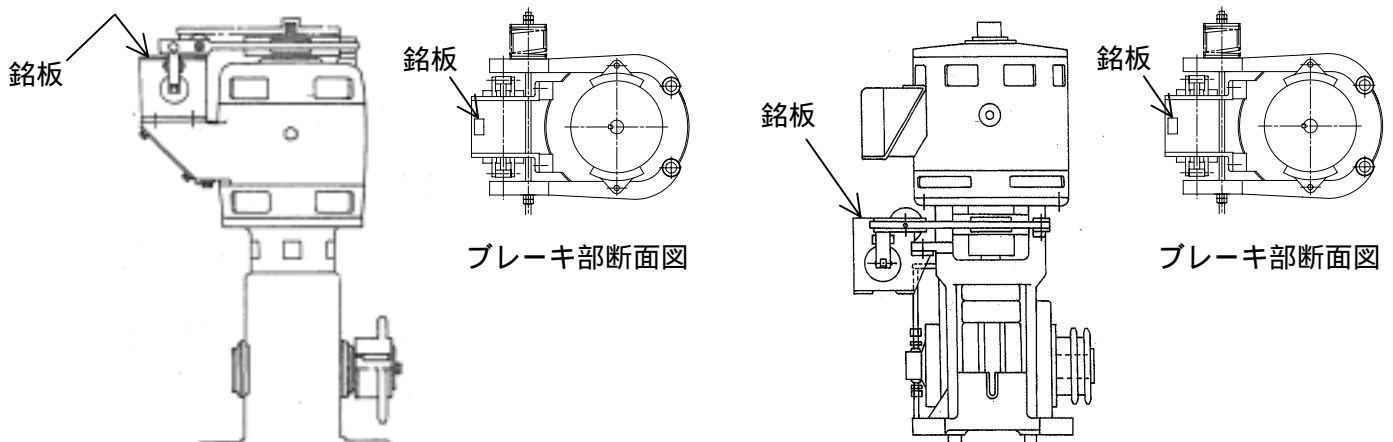


図 1 . A 駆動装置概要(BV291)

図 1 . B 駆動装置概要(BV291)

(2) BS291の時

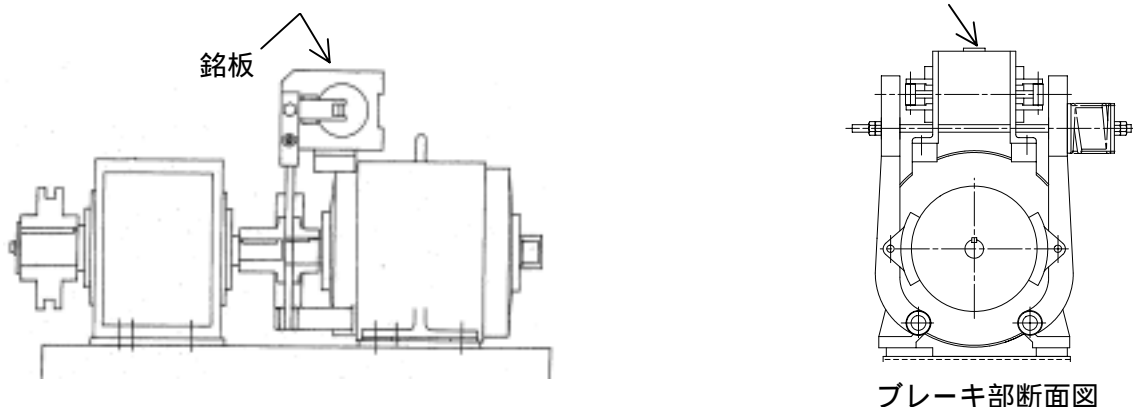


図 1 . C 駆動装置概要(BS291)

管理番号	検査項目	掲載日
3 - C - 1 - 1	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (エスカレーター：ドラム式)	2008-08-11

2.1.2 電磁ブレーキ型式：TMB40

ブレーキには型式銘板がないので、下記の通り識別してください(図2)。

- ・駆動装置の減速機に横型ヘリカル減速機を適用しています。
- ・モーターの出力が11KW以上です(例外あり)。
- ・ブレーキのアーム支持点がモーターと独立しています。

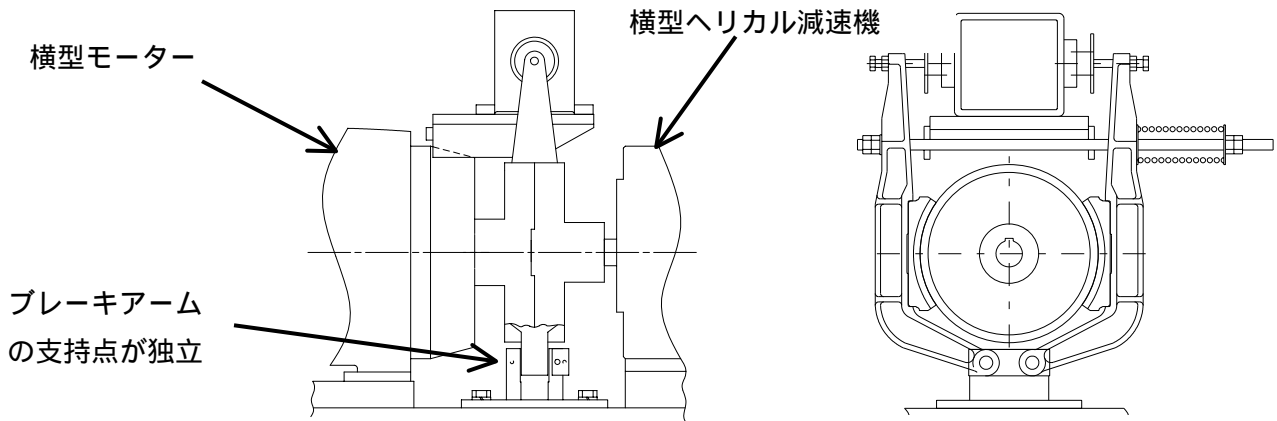


図2. 駆動装置概要(TMB40)

2.1.3 電磁ブレーキ型式：TMB85

図3に示す駆動装置の銘板型式によりブレーキ型式を確認します。

TMB85型ブレーキを適用した駆動装置の型式：ESG-220FA、ESG-300F

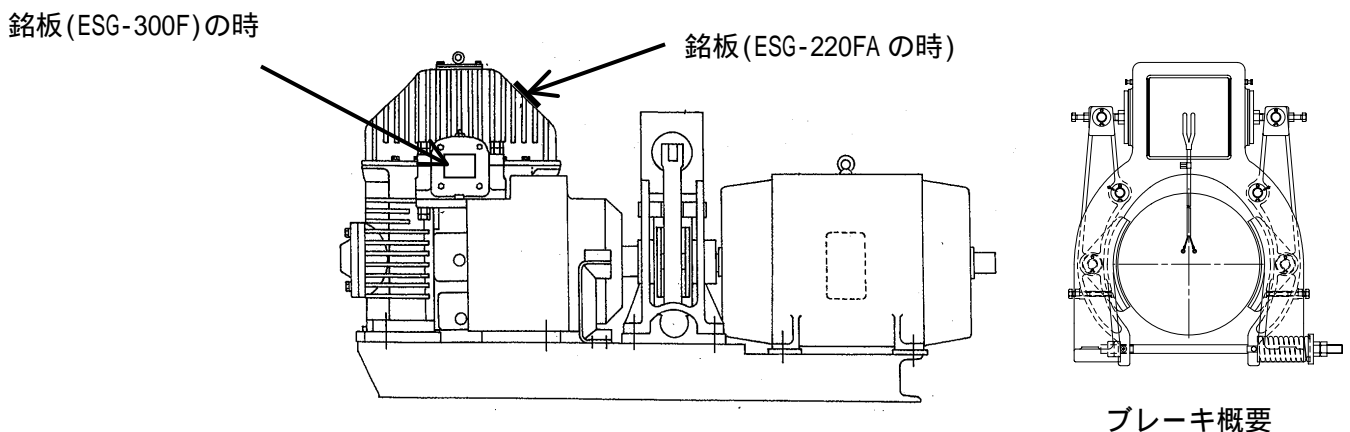


図3. 駆動装置概要(TMB85)

管理番号	検査項目	掲載日
3 - C - 1 - 1	ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (エスカレーター：ドラム式)	2008-08-11

2.1.4 TD形エスカレーター（電磁ブレーキ型式なし）

図4に示すTD形エスカレーターの上階水平部に内蔵された駆動装置であることを確認します。

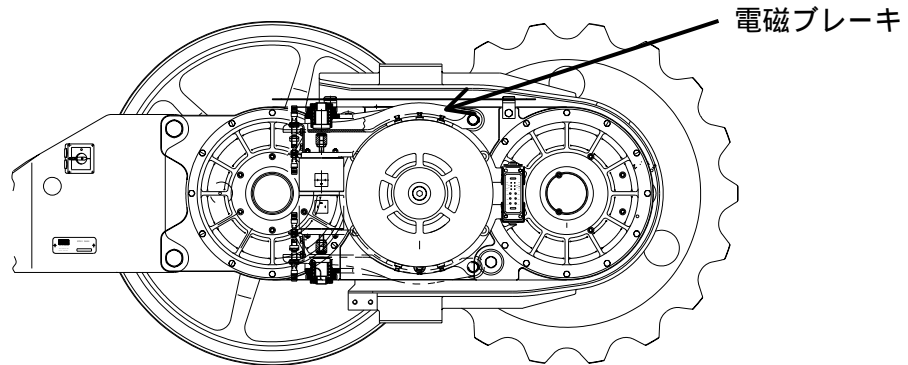


図4．駆動装置概要(TD形エスカレーター)

2.2 検査方法

ブレーキの概略を図5に示す。

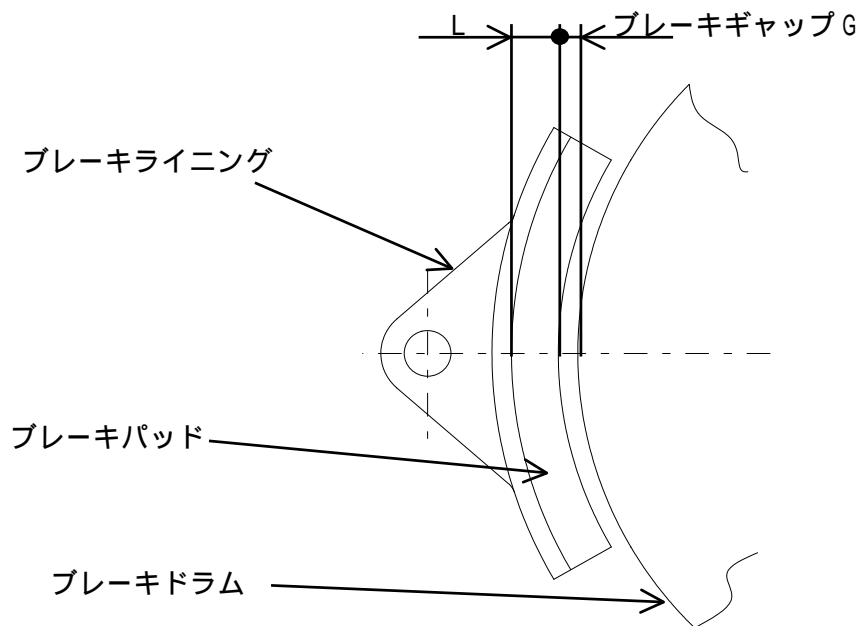


図5．ブレーキ概略



作業前の注意事項

作業を行う際は、以下の点に注意してください。

- ・主電源を切ってください。
- ・制御盤の点検スイッチをINSにしてください。

管理番号 3 - C - 1 - 1	検査項目 ブレーキパッドの残存厚みの判定基準 (エスカレーター：ドラム式)	掲載日 2008-08-11
-----------------------	---	-------------------

- (1) 保全のため、ブレーキ吸引時に、ブレーキライニング中央部におけるブレーキパッドとブレーキドラム間のブレーキギャップ (G) が表2の範囲内にあることを確認してください。
ギャップの確認はドラムの左右両側のブレーキパッドに対して行ってください。
- (2) ブレーキパッドの残り厚さ (L) を確認し、表2により交換の是非を判断してください。
ブレーキパッドの残り厚さの確認はドラムの左右両側のブレーキパッドに対して行ってください。
要重点点検の場合は、ブレーキパッドの交換準備を行ってください。
要交換の場合は、速やかにブレーキパッドを交換してください。

3 . 判定基準

表2 . 判定基準

ブレーキ型式			測定寸法 L mm				ブレーキギャップ G mm
			初期	指摘なし	要重点点検	要是正	
BV291-DNP BS291-DNP			L=7.0	L > 3.5	3.5 L > 3.0	3.0 L	0.35 > G 0.3
TMB40			L=10.0	L > 6.5	6.5 L > 5.5	5.5 L	0.2 > G 0.15
TMB85	B*	110	L=8.0	L > 4.0	4.0 L > 3.0	3.0 L	0.2 > G 0.15
		115	L=10.0	L > 5.0	5.0 L > 4.0	4.0 L	
なし (TD形エスカレーター)			L=8.0	L > 3.6	3.6 L > 3.0	3.0 L	0.15 > G 0.1

*:B寸法は、図4のブレーキパッドの幅寸法 (mm) を示す。

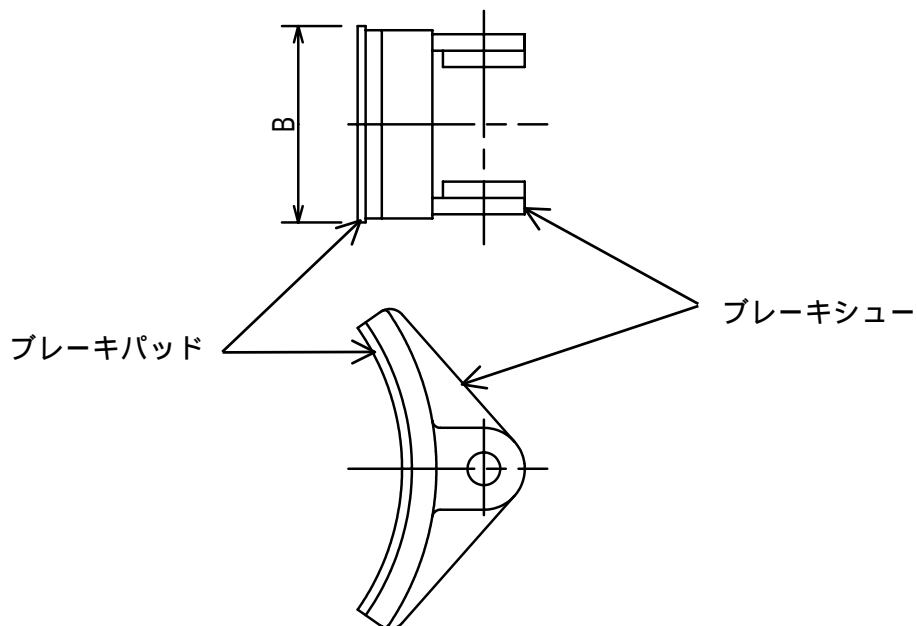


図4 . ブレーキパッド形状
P-4/4